



2月うぶやま天文台星空情報 1

月が金星、土星に接近



天空が広がる(久住山系、祖母山系、阿蘇山系の山々を一望できる)一覽三山の台であるうぶやまの高原には積雪があり、大変寒いのですが、冬は空気が澄み切っていて星空は一番きれいです。晴れていれば、肉眼で見える限界の6等星や天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

2月のうぶやま天文台の星空情報の第1弾は、2月1日～2日に細い月が金星と土星が接近して見える天文現象です。

2月上旬、日の入後の西の空には「宵の明星」として輝く金星が見えます。また、金星より空の低い位置には土星も見えています。最大光度を15日に控えた金星は-4.8等級と明るく存在感があるため、約1等級の土星を探す時の目印になります。

1日は、宵の空で細い月と土星が接近します。この日の白昼に、日本では一般に東北・関東・中部の一部地域以外で、土星が月に隠される土星食が起こります。青空の中での現象となり、肉眼では観察出来ず、望遠鏡を使っても観察は難しいでしょう。夕方でもまだ土星の近くに月が見えています。

2日には、前日よりもわずかに大きくなった月が金星の近くに見えます。鋭く輝く金星と細い月が並ぶ様子は、見栄えのする光景となるでしょう。

【細い月と金星、土星の接近】

